



カメラ散歩では、皆さんの「ホットで楽しい」話題を掲載しています。皆さんからの情報もお待ちしています。

販売会大盛況

～ JR 上尾駅での販売会～

12月10日、災害時相互応援に関する協定を締結した埼玉県上尾市の上尾駅で、地元産品を販売する「キラリ!“駅 de ほっと市”」が開催され、本市からも本宮産品首都圏販売促進協議会（伊藤彦太郎会長）が販売会に参加しました。

当日は、上尾市長が激励に訪れたほか、開始時間前から多くの上尾市民の方で賑わい、販売会は終始大盛況でした。



▲たくさんの人が買い求めました

おいしい～！

～蕎麦祭り～

本宮市担い手支援・耕作放棄地対策協議会では、白岩字塩ノ崎地区の地元農業者の方などに、桑の木の抜根から作物の栽培までの事業を、一貫してお願いしています。平成23年度の事業として、1ヘクタールの桑畑の抜根事業、その後の農業再生として、夏には約50アールにヒマワリを栽培し、残りの約50アールに秋ソバを栽培しました。

12月10日には、これまでの実績を地域内外に報告する会で、「蕎麦祭り」と銘打ち、地域の皆さんと共に、ざるそばやかかけそばにヒマワリの油で揚げた天ぷらを味わいました。これまで地域になかった食材の試食に、参加者からは「おいしい」と笑みがこぼれていました。



▲収穫の恵みを味わいました

相模女子大生と交流

～相模女子大学英語指導会・浪江町支援～

12月19日に、本市と地域協働活動協定を取り交わしている相模女子大学の学生が本市を訪れ、英語指導会と浪江町支援活動を行いました。最初に、五百川小学校と糠沢小学校で、小学6年生と英語のクリスマスソングを歌い、楽しい雰囲気の中でやさしく英語に触れられる授業を行いました。

子どもたちは、最初は緊張した様子でしたが、何回も歌ううちに大きな声で楽しく歌うことができました。

指導をした学生も、会場が一体となって盛り上がった楽しさに、「来て良かった」と喜びを実感していました。最後に、子どもたちそれぞれに手作りのクリスマスカードなどがプレゼントされました。

その後、白沢総合支所の浪江町出張所を訪問し、現地の状況を聞きながら、本市に避難されている方々と情報交換を行いました。

学生は、これまでテレビや新聞で知り得た情報と現実との大きなギャップに驚きながらも、自分たちにできるものは何か、真剣に考えていました。



▲相模女子大生による英語指導の様子



▲浪江町出張所を訪問しました

伝統行事で無病息災を願う



禊天争奪戦

七福神舞

～岩角山大梵天祭と八ツ田内七福神舞～

1月3日に、岩角山岩角寺で、岩角山大梵天祭が開催されました。大梵天祭は約350年の歴史を持ち、身につけていると家内安全や無病息災などのご利益があるとされる大梵天を奪い合う梵天争奪戦に、たくさんの方が参加しました。また、1月7日には、白岩字塩ノ崎地内で元禄年間ごろに始まったとされる八ツ田内七福神舞が行われました。保存会（三瓶清明会長）の皆さんが地区の家々を回り、今年一年の五穀豊穡と家内安全を祈願し、舞を披露しました。

無火災無災害を願って



▲分列行進の様子

～消防出初式～

消防出初式が、1月8日に開催されました。

安達太良神社で一年間の無火災・無災害祈願式典を行った後、本宮市総合体育館で消防団員、女性消防協力隊による通常点検が行われ、規律正しく訓練の成果を披露しました。

式では、来賓あわせて約450の方が参加し、渡辺一雄団長が「市民の安全・安心のため関係機関との連携をお願いする」、高松市長は「市内の無火災・無災害のため、さらにご協力頂きたい」と訓示が述べられました。

その後、市内目抜き通りに会場を移し、分列行進を行い沿道の皆さんに無火災・無災害をPRしました。

故郷のために激走



▲握手を交わす高松市長と橋本さん（右）

～橋本さん（城西大学）箱根駅伝出場報告～

1月2日・3日に行われた東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）に出場した、本宮市出身の橋本隆光さん（本宮字鍋田）が1月5日に市役所を訪れ、出場の報告をしました。

橋本さんは、第2区に起用され区間10位となる快走をみせ城西大学の往路5位、総合6位という好成績に大きく貢献しました。市役所では「福島を元気づける走りができればと思い走った。昨年のタイムを上回り、チームとしても個人としても良い結果を残せたと思う。今後は日本選手権に出て、トップの人たちと走ってみたい」と今後の抱負を話していました。橋本さんは、実業団の小森コーポレーションに入社が決まっています。

プロ野球選手から直接指導



▲打撃のコツを教わりました。

▲贈呈式の様子。左から2番目が江尻選手。

～ふれあい野球教室～

1月15日に、本宮まゆみ小学校体育館で「福島応援ふれあい野球教室」が行われ、本宮市と大玉村の野球スポ少団員約120人が参加しました。プロ野球横浜 DeNA ベイスターズの江尻慎太郎選手・加賀繁選手・藤江均選手が、キャッチボールや打撃の基本などを指導しました。プロ選手の投げる剛速球に、子どもたちは目を輝かせていました。

また、野球教室に先立ち、江尻投手はフィリップスエレクトロニクスジャパンと協力し、10試合登板するごとにAEDを一台被災地に寄贈しており、6台の内、本市に2台、大玉村に1台の寄贈を受けました。